

# 青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

## 本気で、全力で、最後まで

### 感動に満ちた、素晴らしい体育大会☆

「勇往邁進」～関係ないつし、気持ちよしのスローガンのもと、先週の金曜日に開催された体育大会では、応援を初め各分野で三年生がそれぞれリーダーシップを執り率先して活動した成果を十二分に発揮した、素晴らしい大会になりました。

両分団は競い合いつつも、互いの頑張り称え、よきライバルとして高め合い、下級生も三年生に引張られ、それぞれ役割を前向きに精一杯頑張りました。みんな良い表情をしていてキラキラ輝いていました。

市丸、松下両団長を初め、一人残らず全員が一生懸命で、これまでの練習の疲れを物とせず、本気で、全力で、そして最後までやり切ることができたと感じています。

応援合戦の同点優勝、総合の得点差もほとんどありません。本当に本当にありがとうございました。最後まで諦めない

その姿は、見ている者の心を揺り動かししました。当然本人たちの心には深く深くその感動が刻み付けられたことでしょう。

自分たちがこれだけ「頑張れた」「やり切った」ことを自信に繋げてください。そして今後の人生でもこの体育大会への取り組みを、頑張りを活かして下さい。

このメンバーでできたたった一度だけの体育大会を、悔いを残さず思い出を残すように、一生心に残る最高の体育大会になるように、みんなで一致団結して創り上げることができました。

感動をありがとう。本気で頑張ってくれてありがとう。全力で、最後の最後まで取り組んでくれてありがとう。皆さんと保護者の方々、地域の皆様には感謝しありがとうございます。本当に本当にありがとうございました。

## あいさつに関する事

青嶺中学校の生徒たちは挨拶を大きな声でしてくれまます。今年は特に朝の登校時にきちんと立ち止まり、礼をしつかりして大きな声で言うてくれます。なかにはある程度の距離であいさつした後、近くを通り過ぎる際にもう一度お辞儀と挨拶をしてくれる人もいて、嬉しくなります。

教務センター前を通る時は挨拶&手を振ってくれることを以前の通信で書いたと思います。先日、二人の生徒から話しかけられ、「先生たちの挨拶の声が小さいです」「教務センターの前を通る時には手を振ってほしいです」と訴えられました。忙しくていて気付かないことがあるにせよ、生徒たちは私たちの対応を良く見ていて、ちよつと寂しかったのでしよう。

「元気に」挨拶しようと呼びかけるならこちら「より元気に」返さなければと思いますし、「手を振る」ことについては、前任の教頭先生が辞任式で生徒たちにお願ひしていたことでもあり、「続けて伝統にしましょう」とその生徒たちは言うてくれました。

ひとつひとつの主張が本当にもつともで感心するとともに、生徒たちに甘えていたなあと反省もしました。今回は対話する機会があり、挨拶について私も気づくことができたが、同じように感じている生徒もいたと思います。

日常の生活の中や、ちよつとした言葉のやり取りの中で感じていることを是非私たちに話してください。そしてそのことについて対話を深めましょう。来月の生徒総会でも「なぜそう思うのか、そうすることで何が良い方向に変わるのか」と出された意見についての深掘りをみんなですていきたいと思います。

多くの対話を行い、お互いへの理解を進めることで気持ちよく過ごせる、安心感のある学校をみんなで作っていきたいとあらためて思う出来事でした。言うてくれた人たちへ、本当にありがとうございます！

## カナダの叔父(前編)

私にはカナダで暮らし、現地の方と結婚し、事業を興した叔父がいます。様々な事業を経営し本当に豪快な人でした。20歳の夏、バイト代の使い道を考えていた時、先輩からのアドバースもありカナダのモントリオールで暮らしていた叔父に会いに行くことにしました。

当時は航空券の値段が高く、一番安い大韓航空で福岡空港から旅立ちました。最初はプサン次にソウル、そしてバンクーバーに向かいます。日付変更線を超え、時差ボケにやられながらバンクーバーに到着。そこに二泊し国内線に乗り替え、トロント

トを経由してモントリオールに向かいました。国内の時差が4時間飛行機は8時間近く乗ります。途中すぐ近くにロッキーマウンテンが見えたり、五大湖上空では湖面が海のように輝いていたりして、地図でしか知らない地名を実感することができました。日本から三日かけてモントリオールに到着し、迎えに来てくれた叔父の車で自宅に向かいます。

彼は奥さんのローナ、やっと歩けるようになった双子の娘のリサとカレンと四人で郊外のビーコンズフィールドという街に暮らしていました。冬は零下20度を下回ることもあるケベック州は、平屋でも地下室がある家が多いということでした。夏は涼しく冬は暖かいそうです。

裏庭にはリンゴの木がたくさんありリスが走り回っていました。また家の近くにはいくつかの湖があり、自転車であつていて木陰で読書をしたり、昼寝をしたりと夏のカナダを満喫しました。

車でオタワ、トロント、ナイアガラの滝を見に小旅行をしたり、ケベックシティでは一人でツアーに参加したり：輝く夏のカナダを約二週間旅しました。(続く)

## 校長室より

さすがに今朝はお疲れ気味の子ども達です。苦勞を共にし、きつい時を一緒に乗り切ることにより絆を深めてほしいと願ひつつ…